

○本時のねらい

スーパーマーケットの売り場やそこで働く人の様子に着目して、様々な工夫とその目的を捉える。また、これまでの学習を通して疑問に思ったこと、調べても分からなかったことを担当者に質問することで、スーパーマーケットでの仕事の工夫について理解を深める。

○主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

【教職員用 PC→1 台使用】

Zoom→スーパーマーケットの担当者とあらかじめメールやリモートで打ち合わせを行い、接続テストを経ている。当日は Zoom のスケジュール機能を活用し、開始時間の 5 分前に接続を完了させ、担当者がスマートフォンで店内を映す形でスーパーマーケットの様子を見学した。

○参考にしてほしいポイント

実際に店舗へ行かず、スーパーマーケットの見学をオンラインで行うことで、大きく 2 点の利点があった。

1 つ目は、担当者が解説する声を児童生徒が落ち着いて聞くことができ、メモすることができたことである。実際に店舗を訪れて解説を聞くと、列の前と後ろで聞きやすさが変わってしまう。また、Zoom の接続を教員の PC 1 台にして情報を絞ることで、映像と音声に集中することができた。

2 つ目は、お店の方が店内やバックヤードを回っているため、衛生面に気を遣う惣菜コーナーや精肉コーナーなど、普段は立ち入れない場所の見学を行うことができた。他にも、感染症対策や移動時間の削減など、様々な利点がある。しかしどれも、店舗と担当者の方のご厚意によるものであり、打ち合わせの重要性を感じた。

学習の流れ (分)		主な学習活動とその内容	ICT 機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	～ 20 分 ○本時の学習の流れや課題を確認する。 ・店で働く人の様子を調べよう。 ○Zoom を使用するにあたってのマナーや言葉遣いについて確認する。 ・相手の言葉に返事や相槌をする。 ・丁寧な言葉遣いで会話する。	・接続の予定時刻の 10 分前から Zoom を開き待機しておく。
	展開	～ 80 分 ○担当者に挨拶をし、自己紹介をする。 ○Zoom をつなぎ、店内の様子や働く人の様子を見学する。 ○これまでの学習や今回の見学の中で分からないことや深めたいことを質問する。 ○お礼を伝え、PC を閉じる。	・Zoom で店舗の担当者と接続を確認したあと、活動を進める。 ・場所によって電波状況が悪く、映像や音声が止まった時にもう 1 度見せてもらえるよう教師から申し出る。

			・売り場の見学が終わり、質問をする活動に切り替わるタイミングで2分間、目の休養時間をとる。
まとめ	～ 95分	○今日の学習で分かったことについて交流を行う。	



Zoom でスーパーマーケットの店内を案内してもらっている場面。



担当者に質問をしている場面。答えてもらったことをその場でメモしている。

○児童生徒の反応

映された映像と音声に集中し、分かったことをノートにメモしていた。映像がはっきりしなかったり、詳しく見たいものがあったりするときは「詳しく見せてください。」と担当者に伝えるなど主体的に取り組んでいた。

活用方法

評価の観点	知識・技能
具体的変容	スーパーマーケットの売り場の様子やそこで働く人の様子を映像で見ることで工夫に気付くことができた。また、これまでの学習で分からなかったことや深めたいことについて質問し、知識を広げることができた。

○実践の手応え

今回は、新型コロナウイルス感染症防止対策の面からも店舗の担当者と直接会うことをせず、電話やメール、Zoom などリモートでの打ち合わせを通して実践できた。今回の取組から ICT を活用することで、空間や時間を気にせず、様々な方と会話し、子どもたちの学習に生かすことができる可能性を感じた。今回、協力していただいたスーパーマーケットの方には非常に感謝をしている。